

# 稲・大豆作情報 (NO. 4)

## 1. 水稲作況情報田の生育概況(7月23日現在)

品 種 場 所	移植日 栽植株数	年 次	現在の生育状況				概況
			草 丈 cm	茎 数 本/m <sup>2</sup>	主稈 出葉数	葉色 SPAD	
夢しずく 佐賀市本庄町	6/17 18.0株/m <sup>2</sup>	本年 平 年 平年比	60.9 61.8 ( 98)	367 354 (104)	10.9 10.2 (+0.6)	39.1 41.0 (-1.9)	今週も高温多照少雨で推移した。 草丈は「夢しずく」でやや低いが、その他ほぼ平年並み。茎数は「ヒヨクモチ」で多くなっている。葉齢は「夢しずく」「ヒヨクモチ」で平年よりやや多く推移している。 葉色は全品種平年よりやや淡い。 「夢しずく」は幼穂長1mm。
さがびより 小城市芦刈町	6/21 18.5株/m <sup>2</sup>	本年 平 年 平年比	57.1 55.4 (103)	464 453 (102)	10.5 10.5 (+0.0)	39.6 41.1 (-1.5)	
ヒヨクモチ 小城市牛津町	6/29 19.3株/m <sup>2</sup>	本年 平 年 平年比	35.8 35.8 (100)	463 400 (116)	10.4 9.8 (+0.6)	40.9 42.3 (-1.4)	

注1) 各品種 前作: 麦

注2) 施肥及び病害虫防除は地区基準に準ずる。

## <参考> 佐賀県農業試験研究センター 米づくり情報(抜粋)(7月23日調査)

品 種 場 所	移植日 栽植株数	年 次	現在の生育状況				概況
			草 丈 cm	茎 数 本/m <sup>2</sup>	主稈 出葉数	葉色 SPAD	
夢しずく	6/18 19.6株/m <sup>2</sup>	本年 平 年 平年比	57.2 57.5 ( 99)	372 425 ( 88)	10.2 10.4 (-0.2)	39.2 40.1 (-0.9)	【草丈】「夢しずく」、「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は平年並み。「さがびより」は低い。
ヒノヒカリ	6/18 22.2株/m <sup>2</sup>	本年 平 年 平年比	53.5 53.2 (101)	594 524 (113)	10.8 10.6 (+0.2)	41.8 41.4 (+0.4)	【茎数】「夢しずく」は少ない。その他は平年より多い。 【葉齢】「夢しずく」はやや遅れている。「ヒノヒカリ」はやや進んでいる。
さがびより	6/21 16.7株/m <sup>2</sup>	本年 平 年 平年比	47.2 51.4 ( 92)	583 519 (112)	10.0 10.6 (-0.6)	40.3 42.2 (-1.9)	「さがびより」は遅れている。「ヒヨクモチ」は平年並み。
ヒヨクモチ	6/21 22.2株/m <sup>2</sup>	本年 平 年 平年比	46.7 46.4 (101)	868 799 (109)	10.9 11.0 (-0.1)	42.8 43.2 (-0.4)	【葉色】「夢しずく」「さがびより」はやや低い。「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は平年並み。

## 2. 水稲管理

**引き続き、有効茎数に応じた管理を徹底し、生育量・有効茎の確保に努める。  
「夢しずく」は、幼穂形成期を迎えている。穂肥診断に従い、遅くならないように穂肥を施用する。**

### ○水管理 ～ 浅水・間断 適正な水管理を ～

- ・有効茎が確保できていない圃場  
→ 浅水管理で、分げつを促す。

**深水厳禁！**

- ・有効茎が確保できている圃場  
→ 中干しを開始する(目安は右表を参考)。  
中干しは、軽い亀裂が入り足跡がわずかにつく程度で、1週間程度実施する。

品種	目標 穂数 本/㎡	有効茎数(中干し時期)	
		50株/坪 (15.2本/㎡)	60株/坪 (18.2本/㎡)
夢しずく	360	24本/株	20本/株
さがびより	370	25本/株	21本/株
ヒヨクモチ	440	29本/株	24本/株

### ○除草剤 ～取りこぼし雑草に注意～

- ・雑草の生育(葉齢)に注意し、中後期除草剤による早めの対策を講じる。

対象	除草剤名	使用時期	備考
ヒエ類	クリンチャー 1 ㌔粒剤	移植後 7 日～ル <sup>1</sup> I 4L 但し、収穫 30 日前まで	湛水散布(3～4 日は湛水)
	クリンチャー EW	移植後 20 日～ル <sup>1</sup> I 6L 但し、収穫 30 日前まで	落水散布。展着剤加用。
	ヒエクリーン 1 ㌔粒剤	移植後 15 日～ル <sup>1</sup> I 4L 但し、収穫 45 日前まで	湛水散布(3～4 日は湛水)
広葉雑草	バサグラン粒剤	移植後 15 日～55 日 但し収穫 60 日前まで	落水～ごく浅く湛水散布。 最低 3 日間入落水しない。 高温条件下では、薬害が生じやすいので夕方散布。
	バサグラン液剤	移植後 15 日～55 日 但し収穫 50 日前まで	
ヒエ類および広葉雑草	クリンチャーバス ME 液剤	移植後 15 日～ル <sup>1</sup> I 5L 但し収穫 50 日前まで	落水～ごく浅く湛水散布。 最低 3 日間入落水しない。 高温条件下では、薬害が生じやすいので夕方散布。(展着剤無加用)
	ハイカット 1 ㌔粒剤	移植後 15 日～ル <sup>1</sup> I 3.5L 但し、収穫 60 日前まで	湛水散布(3～4 日は湛水)
	フォローアップ 1 ㌔粒剤	移植後 15 日～ル <sup>1</sup> I 5L (稲 4 葉期以降) 但し、収穫 60 日前まで	湛水散布(3～5 日は湛水)
	ワイドアタック SC	移植後 20 日～ル <sup>1</sup> I 6L 但し、収穫 30 日前まで	落水～ごく浅く湛水散布。(展着剤無加用)

## ○夢しずく

- ・穂肥施用時は湛水し、その後の間断灌水では、地固めと根に空気を送るため落水期間を長めにとる。

### 【平坦部での夢しずく穂肥診断基準】

幼穂形成始期の草丈	葉 色		施 用 時 期		穂肥施用量	
	群落	葉緑素計	出穂前	幼穂長	N成分 kg/10a	BB602 kg/10a
73cm以下	3.0以下	34以下	20~22日	1mm	2.0	12.5
	3.0~3.5	34~38	18~20日	2mm	1.5	9.4
	3.6以上	39以上	施 用 し な い			
73~79cm	3.0~3.5	34~38	18~20日	2mm	1.0	6.3
	3.6以上	39以上	施 用 し な い			
80cm以上	施 用 し な い					

※草丈は、幼穂の伸長程度により幼穂形成期（1mm）を基点に、前後1日あたり1cm増減する。

※出穂前15日以降の穂肥は、玄米タンパク値を上昇させるので施用しない。

## ○病害虫情報(発生および防除)

- ・今年の特イロウンカは、現在のところ5月11日、7月4日、7月9日の3飛来が確認されており、飛来量は下表のとおり。飛来量は平年並みで、飛来の中では7月9日がやや多い。
- ・平坦部の一部圃場でウンカ類の幼虫0.1~0.2頭/株が確認された(7/23)。移植時期や品種によってはより多く発生している可能性もあるため、今後もそれぞれで発生状況を注視し、適期防除に努める。
- ・農業技術防除センターより7月14日に発信された発生予測図は右図のとおり。なおこの発生予測図は随時更新されるため、以下に示すホームページで最新情報を定期的に確認してください。

農業技術防除センターHP 参照：病害虫情報

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>

### ・暫定防除時期（7/14 現在）

**第一世代幼虫期 7/25~31**

防除する場合は湛水するとともに株元まで十分にかかるように丁寧に散布する。



トイロウンカの発生予測図（7/14 発表）

表1 イネウンカ類・コブノメイガのトラップ捕獲状況(2021年)

月	日	トビロウウンカ						セジロウウンカ						コブノメイガ						
		佐賀県			長崎県			佐賀県			長崎県			佐賀県			長崎県			
		佐賀市 ネット トラップ	佐賀市 ライト トラップ	糟野市 ライト トラップ	諫早市 ライト トラップ	諫早市 ネット トラップA	諫早市 ネット トラップB	佐賀市 ネット トラップ	佐賀市 ライト トラップ	糟野市 ライト トラップ	諫早市 ライト トラップ	諫早市 ネット トラップA	諫早市 ネット トラップB	佐賀市 フェロモン トラップA	神埼市 粘着トラ ップ(20W 紫外灯)	伊万里市 粘着トラ ップ(20W 紫外灯)	白石町 粘着トラ ップ(20W 紫外灯)	武雄市 粘着トラ ップ(20W 紫外灯)	諫早市 フェロモン トラップA	諫早市 フェロモン トラップB
6月	1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0		
	2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
	3日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	7	4	0				0		
	4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0			0		
	5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
	6日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
	7日	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	8日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
	9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
	10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
	11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	1日	0	0	0			1	0	0					0						
	2日	0	0	0			0	0	0					0	0	0	0			
	3日	0	-	0			1	-	0					0	0	0	0			
	4日	1	-	0			0	-	0					0	0	0	0			
	5日	0	-	0			0	-	0					0	0	0	0			
	6日	0	-	0			0	-	1					0	0	0	2			
	7日	0	0	0			1	0	0					0	0	0	0			
	8日	0	0	3			2	3	7					0	0	0	0			
	9日	0	0	2			2	16	143					0	0	0	2			
	10日	0	0	0			4	8	7					0	0	0	0			
	11日	0	0	0			0	0	4					0	0	0	0			
	12日	0		3			1		24					0	0	0	0			

注1)佐賀市ネットトラップとライトトラップ(予察灯)は、農業試験研究センターで調査。糟野市ライトトラップ(予察灯)は農業技術防除センターで調査。  
注2)コブノメイガ:神埼市、白石町、伊万里市、武雄市は防除員が調査。佐賀市のフェロモントラップは農業試験研究センターで調査。  
※長崎県のデータは、長崎県農林技術開発センター環境研究部門病害虫発生予察室提供。



### 3. 大豆管理 ～ 生育に応じ適正管理を ～

6月末から7月中旬と播種期間が幅広く、圃場ごとに様々な生育となっている。  
生育に応じて適正管理を行きましょう。

#### ○生育状況

6月下旬～7月初旬播種 本葉1～4枚  
7月上中旬播種 出芽期～本葉1葉  
※同じ播種時期でも、土壤水分の有無や降雨の有無で生育は異なる。

#### ○播種・再播種

まだ播種されていない、または再播種される圃場では土壤水分、天気を考慮した播種を行う。  
既に土壤が乾燥している場合は、降雨後や入水により一定の土壤水分とした後に播種する。

##### ・播種量

時期	栽植本数 ㎡あたり	栽植様式 条間×株間×1株本数	播種量 (kg/10a)	施肥
7月21日～25日	18本 20本	75×15×2 3条播き 20×2	5.0～6.0	BB480を40kg/10a (窒素成分 5kg/10a) 生育量確保のため行う
7月26日～	27本	75×11×2	8.0	

##### ・播種深度

土壤水分が高い場合や播種後2～3日以内に降雨が予想される時→2cm程度の浅め 鎮圧しない  
播種後に晴天が続く場合は、4～5cm前後の深めにして鎮圧をおこなう。

💡 順調な出芽となるよう土壤水分の確保ができる作業体系も検討を！

播種後、晴天が続く予報の場合、夜間の播種 → 早朝の鎮圧 などできる限り土壤水分の蒸散を抑制し、出芽までの土壤水分の確保を行う。

##### ・除草剤

畦畔及び本田への散布で、周辺水稻へドリフト・薬害事例が散見されている。  
播種前・播種後の散布作業は、周辺の作物への影響を十分に考慮して行う。

除草剤の散布は、風が弱い日が多い早朝が望ましい。ただ早朝でも風がある日は散布を避ける。

#### ○培土

・出芽した大豆は、以下の目安を参考に、雑草防除や生育確保のため、  
1回目の培土を実施する。

#### ○実施時期の目安

- 1回目：本葉2～3枚の頃、子葉が隠れる程度におこなう。
- 2回目：本葉4～5枚時に、初生葉（子葉の上の葉）まで隠れるようにおこなう。



1回目の培土時期の目安

### 令和3年産水稻生育期間気象グラフ (アメダス：佐賀)

佐城農業改良普及センター

